



# オサム・ジェームス・中川、津田道子、大巻伸嗣がアドバイザリーボードに初参加 新たなアートの潮流を目指し京都から世界へ 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025」開催決定！

開催期間：2025年2月28日(金)～3月2日(日)



## 国際的な広がり視野に、トップアーティストと若手アーティストの才能が早春の京都に集結

京都府、京都新聞、ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会は、歴史と伝統が息づく京都を舞台にしたアーティスト主導のアートフェア「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025 (アーティスト フェア キョウト)」を2025年2月28日(金)～3月2日(日)に開催します。

本イベントは、次世代のアーティストが世に羽ばたくためのきっかけづくりとして、また来場者とアーティストとの直接的なコミュニケーションを生み出す新しいスタイルのフェアとして8回目を迎えます。今回も「Singularity of Art (シンギュラリティ オブ アート)」をテーマに、ディレクター椿昇のもと、これまでのアートフェアの枠組みを超えた、新たなアートシステムの創造を促進します。

今回、若手アーティストを推薦するアーティスト「アドバイザリーボード」には、アメリカを拠点にグローバルに活躍するオサム・ジェームス・中川や国際的芸術祭での経験を重ねる津田道子、2023年に国立新美術館の大型個展で話題を呼んだ大巻伸嗣の初参加が決定しました。加えて、加藤泉、名和晃平、ヤノベケンジら国際的な視座を持つアーティスト16組がアドバイザリーボードに名を連ねます。

出品アーティストは、アドバイザリーボードと公募により選出された可能性溢れる若手アーティスト40組、その内2組がアメリカからの参加となります。国を越えた多彩なラインナップで新たな才能を発掘・発信し、アートの新たな潮流を発信する国際的なハブとなるよう、さらなる広がりを目指します。

メイン会場は、前回初会場となった京都国立博物館 明治古都館と例年インダストリアルな空間で作品を演出する京都新聞ビル 地下1階に決定。この趣のあるユニークヴェニューで、ペインティングからテクノロジーを駆使したインスタレーションまで、多種多様な表現手法の作品を展示・販売します。さらに、京都の街中に展開するサテライト会場や若手批評家育成プロジェクトなども開催予定です。

また、前回の「ARTISTS' FAIR KYOTO 2024 マイナビ ART AWARD」で最優秀賞を受賞した志賀耕太による個展「SIDE GAME」が銀座・歌舞伎座タワー22F「MYNAVI ART SQUARE (マイナビアートスクエア)」で2024年10月18日(金)から2025年1月25日(土)まで開催されています。

国際的な広がりを目指し、美術展とアートフェアをボーダレスにスケールアップしながら展開する本フェアにご期待ください。

### プロジェクトに関するお問い合わせ

京都府、京都新聞  
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会  
(事務局：京都府文化生活部文化芸術課)  
<https://www.artists-fair.kyoto/>

### 取材・掲載についてのお問い合わせ

取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。  
広報担当：篠原礼子 (liil inc.)  
E-mail:reiko@liil.com / CEL : 090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます  
<https://bit.ly/3Bi3dpW>

## ■ ディレクターからのメッセージ



ARTISTS' FAIR KYOTO  
ディレクター 椿昇

以前アドバイザーボードをお願いした池上高志先生と青森で対談した折に、生命の本質は「堅牢性だよ」と仰った事がずっと脳裏に焼き付いて離れない。DNAというシンプルな素材は、信じ難い多様性を生み出しながら驚くほどエラーを起こさないし、エラーを修復する力も半端ない。

さて、美術教育の現場にこの堅牢性と多様性の物語をどう解釈すれば良いのかヒントがある。金沢21世紀美術館で14年間継続してきた中学生対象のワークショップ。突拍子もないテーマな上に、方法と技術を全く与えられない。結果生まれ出るのは100人いれば100通りの認知パターンと表現形式が存在し、そこには驚異的な多様性と優劣を超越したパワーの噴出があった。

マーク・マンダースの作品の前で木炭でキャンバスにスケッチした中学生たちのフォースは、人間の持つ根源的なパワーを存分に証明した。さて、大人になってゆくアーティストたちにもこの衝撃波は起こせるのだろうか…アートは実に恐ろしいのだ。

## ■ アドバイザーボード16組(若手を推薦するアーティスト)



池田光弘  
撮影: Mahiro Tsuruda



伊庭靖子



薄久保香  
撮影: Kenshu Shintsubo



大庭大介



大巻伸嗣



オサム・ジェームス・中川



加藤泉  
撮影: Guillaume Ziccarelli



鬼頭健吾



田村友一郎



津田道子  
撮影: 奥祐司



鶴田憲次



名和晃平  
撮影: Nobutada OMOTE | SANDWICH



ミヤケマイ  
撮影: Norio Kidera



ヤノベケンジ



Yotta



ロバート・プラット

## ■ 特徴

1. 作家×観客のダイレクトなコミュニケーションによって完成する、オルタナティブなアートフェア
2. 世界で活躍するアーティストらのアドバイザーボード参加。国際的な視野で新しいアートシステムを創造し、次世代アーティストの飛躍を支援
3. 出品アーティストを対象に、特に優れた作品を選出し、活動の後押しを行うART AWARDの開催
4. 京都全域を舞台に多彩なプログラムで早春の京都を彩る

## ■ クリエイティブメンバー

プロデューサー  
高岩シュン

グラフィックデザイン  
UMA / design farm

会場デザイン  
dot architects (ドットアーキテツ)

## ■ 出品アーティスト

【若手アーティスト：40組】 [ ] 内は推薦アーティスト、又は公募選出者 ※2024年10月24日現在

Andrés Mario de Varona( アンドレス・マリオ・デ・ヴァローナ)[オサム・ジェームス・中川] / 諫山元貴[名和晃平] / 宇野湧[公募] / 大澤一太[池田光弘] / 大角ユウタ[ミヤケマイ] / 小笠原盛久[田村友一郎] / 岡村よこ[公募] / 岡本里栄[伊庭靖子] / オヤマアツキ[公募] / 川村摩那[公募] / 吉川永祐[津田道子] / 久保木要[公募] / 久保田須須智広[薄久保香] / 熊谷卓哉[ヤノベケンジ] / 桑原ひな乃[Yotta] / 佐直麻里子[津田道子] / 柴田まお[大巻伸嗣] / しまうちみか[ロバート・プラット] / 清水信幸[加藤泉] / Jaclyn Wright ( ジャクリン・ライト ) [オサム・ジェームス・中川] / 白井桜子[大庭大介] / 橘葉月[鶴田憲次] / 儲観雯( チョセイブン ) [公募] / 土屋咲瑛[椿昇] / 寺澤季恵[薄久保香] / 中崎由梨[田村友一郎] / 長沢楓[大庭大介] / 中村直人[公募] / 丹羽優太[椿昇] / 林可奈葉[鬼頭健吾] / 福田澪[ロバート・プラット] / 松井照太[鬼頭健吾] / 松尾昌樹[公募] / 本岡景太[大巻伸嗣] / 山越美佳[公募] / 山田千尋[公募] / ヤマトコウジロウ[Yotta] / 山本紗佑里[伊庭靖子] / 山本真実江[鶴田憲次] / 和出伸一[池田光弘]

## 出品アーティストの作品イメージ(一部ご紹介)



Jaclyn Wright 《Blaze Pink, II》2024  
Fujichrome, Archival inkjet print  
H762x609.6mm



しまうちみか 《We are on fire わたしたちは最高》2023  
アクリル・油彩・コラージュ、ドンゴロス・キャンバス  
H1940×W3910mm



土屋咲瑛 《ショーウィンドウフルオブールズ(キャントスルー・ユー)※部分》2024  
ターポリンに印刷、ブロー、洗濯ホース他  
サイズ可変  
撮影：木奥恵三



中村直人 《Window II》2023  
木材、アルミ、布、写真  
H450×W1050×D60mm



川村摩那 《たえまのたえま》2024  
アクリル、キャンバス  
H1303xW1940mm



寺澤季恵 《生生》2024  
ガラス、鉄、ウレタンフォーム  
H1700xW1400xD1400mm

プロジェクトに関するお問い合わせ

京都府、京都新聞  
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会  
(事務局：京都府文化庁生活部文化芸術課)  
<https://www.artists-fair.kyoto/>

取材・掲載についてのお問い合わせ

取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。  
広報担当：篠原礼子 (liil inc.)  
E-mail:reiko@liil.com / CEL : 090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます  
<https://bit.ly/3Bi3dpW>

## 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2024 マイナビ ART AWARD」最優秀賞 受賞者 志賀耕太による個展「SIDE GAME」開催



マイナビアートスクエア（略称：MASQ）は、2024年10月18日（金）から2025年1月25日（土）まで、「ARTISTS' FAIR KYOTO 2024 マイナビ ART AWARD」にて最優秀賞を受賞したアーティスト志賀耕太による個展「SIDE GAME」を開催します。

志賀耕太は、東京を拠点に、道具や空間、社会がもたらす規則を遊戯的に流用することで、“都市の物語”をシニカルにとらえるようなショートフィルム、パフォーマンスビデオを制作してきました。本展では、「遊びの歴史」をテーマに、志賀の制作の根幹となる「遊び」と、日本の近現代史、戦後史が交錯する新作の映像インスタレーションを発表します。

1945年の終戦後、連合国軍総司令部（GHQ）の占領下だった

球場を舞台として、繰り広げられる一人遊びによって公私の関係を探る『ステートサイド・ゲーム』。そして、1600年代の鎖国下に長崎・出島で広まったビリヤードやバドミントンをモチーフに、遊び道具が兵器として利用される今日の世界で、国家や家族のあり方を問う『鎖国兵器』。

会場では、この2作のレクチャー・パフォーマンス・ビデオを中心に、写真、オブジェ、テキストなどさまざまな要素が構成、展示されます。歴史の一部をフィクションとして現代に構築し、「遊び」を通じて世界をモンタージュすることで、志賀は今を捉え直し、新たな物語へと昇華させます。



### 志賀耕太

1998年東京生まれ。東京を拠点に、空間や道具の規則を流用し、「遊ぶ」ことで、現代の都市を捉え直すようなショートフィルム、パフォーマンスビデオを制作している。また、映画や出版の企画をコレクティブ tazazumiとして行っている。

### 略歴

1998 東京都生まれ  
2017 東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 入学  
2021 東京藝術大学 大学院 美術研究科 油画 入学  
2023 東京藝術大学 大学院 博士後期課程 在籍

### イベント概要 志賀耕太・個展「SIDE GAME」

会 期： 2024年10月18日（金）～2025年1月25日（土）  
会 場： マイナビアートスクエア（〒104-0061 東京都中央区銀座4-12-15 歌舞伎座タワー 22F）  
時 間： 11:00～18:00  
休館日： 日・月・祝 ※年末年始（12月26日から翌年1月6日まで） その他、臨時休館・臨時開館あり  
入場料： 無料  
URL： <https://artsquare.mynavi.jp/>

### 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2024」マイナビ ART AWARD 最優秀賞作品

撮影：KUBI STUDIO



志賀耕太による作品《SPIRAL JETTY MONJA》



京都新聞ビル 地下1階を会場に、ロバート・スミッソンの名作《スパイラル・ジェティ》をモチーフに作品を出品。



株式会社マイナビ 執行役員 落合和之(写真右)からトロフィーを授与される志賀耕太(写真左)

プロジェクトに関するお問い合わせ  
京都府、京都新聞  
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会  
(事務局：京都府文化生活部文化芸術課)  
<https://www.artists-fair.kyoto/>

取材・掲載についてのお問い合わせ  
取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。  
広報担当：篠原礼子 (liil inc.)  
E-mail:reiko@liil.com / CEL:090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます  
<https://bit.ly/3Bi3dpW>

<開催概要>

## ARTISTS' FAIR KYOTO 2025

### メイン会場

会場： 京都国立博物館 明治古都館（京都市東山区茶屋町527）  
京都新聞ビル 地下1階（京都市中京区烏丸通夷川上ル少将井町239）

日程： 2025年2月28日（金）～3月2日（日）

時間： 京都国立博物館 明治古都館 9:30～17:00（最終入場16:30）  
京都新聞ビル 地下1階 10:00～17:00（最終入場16:30）

URL： <https://artists-fair.kyoto/>

### <お問い合わせ>

ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会

TEL： 075-414-4219（10:00-17:00 / 土日祝休み）

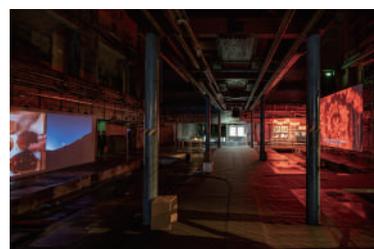
主催： 京都府、京都新聞、ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会

後援： 経済産業省、文化庁、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会

### ■メイン会場



京都国立博物館 明治古都館



京都新聞ビル 地下1階

## ■ 2024年開催の様子

### 「ARTISTS' FAIR KYOTO 2024」開催の様子

撮影：KUBI STUDIO



ARTISTS' FAIR KYOTO 2024  
マイナビ ART AWARD 授賞式



京都国立博物館 明治古都館（メイン会場）



京都新聞ビル 地下1階（メイン会場）



音羽山 清水寺にYottaによる作品《花子》が登場



音羽山 清水寺（アドバイザーボード展）



京都府庁旧本館1階 salon de 1904（サテライト会場）  
木村舜による展覧会「この世」

### プロジェクトに関するお問い合わせ

京都府、京都新聞  
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会  
（事務局：京都府文化生活部文化芸術課）  
<https://www.artists-fair.kyoto/>

### 取材・掲載についてのお問い合わせ

取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。  
広報担当：篠原礼子（liil inc.）  
E-mail:reiko@liil.com / CEL：090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます  
<https://bit.ly/3Bi3dpW>